

# 浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事

- A-1000 建築 図
- S-2000 建築構造 図
- E-3000 電気設備 図
- M-4000 空気調和設備 図
- P-5000 給排水衛生設備 図
- L-6000 外構 図

図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺
E-3001	図面リスト	NO SCALE									
E-3002	工事概要書	NO SCALE									
E-3003	共通特記仕様書	NO SCALE									
E-3004	特記仕様書 (2)	NO SCALE									
E-3005	特記仕様書 (3)	NO SCALE									
E-3006	特記仕様書 (4)	NO SCALE									
E-3007	特記仕様書 (5)	NO SCALE									
E-3008	特記仕様書 (6)	NO SCALE									
E-3009	特記仕様書 (7)	NO SCALE									
E-3011	構内配電線路図	1/500									
E-3012	構内通信線路図	1/500									
E-3013	構内配電・通信線一覧表	NO SCALE									
E-3021	幹線設備 系統図	NO SCALE									
E-3022	空調電源設備 平面図	1/100									
E-3023	電灯・コンセント設備 平面図	1/100									
E-3024	電灯設備 照明器具姿図	NO SCALE									
E-3025	分電盤負荷表	NO SCALE									
E-3031	弱電設備 系統図・端子盤表	NO SCALE									
E-3032	弱電設備 平面図	1/100									
E-3033	弱電設備 審判裁決棟 ビット平面図	1/100									
E-3034	弱電設備 審判裁決棟 1階平面図	1/100									

# 1. 建築概要

工事名称	浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
工事場所	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号	敷地面積	147,658.78 m <sup>2</sup>	
建築主住所氏名	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号 埼玉浦和競馬組合	建築面積	86.85 m <sup>2</sup>	10,165.33 m <sup>2</sup>
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	さいたま都市計画区域内 (市街化区域・市街化調整区域・区域区分非設定)	建ぺい率	6.95 %	
用途地域	第1種住居・準住居・近隣商業・商業 準工業・工業・工業専用・無指定	延べ面積(建築物全体)	115.86 m <sup>2</sup>	21,521.09 m <sup>2</sup>
防火地域	防火地域 準防火地域 指定なし	地階の住宅の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
法定容積率	200 %	共同住宅の共用の廊下等の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
法定建ぺい率	60 %	昇降路の部分	- m <sup>2</sup>	73.28 m <sup>2</sup>
その他の区域、地域、地区又は街区	第1種住居エリア：高度地区(20m)、景観誘導区域、下水道処理区域 無指定エリア(過半)：都市計画公園(浦和記念公園)、景観誘導区域、下水道処理区域	自動車庫等の部分	- m <sup>2</sup>	23.17 m <sup>2</sup>
法的な技術対応		住宅の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
主要用途	事務所	延べ面積(容積対象)	21,540.50 m <sup>2</sup>	
工事種別	新築・増築・改築・移転 用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替え	容積率	14.59 %	
主体構造	S造・SRC造・RC造・W造	駐車台数	2台	711台
階数	-	建築物の数	申請に係る建築物の数	1
耐火・準耐火建築物	耐火建築物・準耐火建築物 指定無し	建築物の高さ	6.86 m (平均地盤面より)	
防火対象物の用途区分		最高の軒の高さ	6.36 m (平均地盤面より)	
基礎地業	直接基礎(布基礎)	平均地盤面の高さ	TP+6.14 m	
主たる外部仕上		設計地盤面	TP+6.10 m (設計GLの高さ)	
工事着手予定年月日	令和4年 月 日	基準階	階高	- m
工事完了予定年月日	令和5年 月 日	面積	- m <sup>2</sup>	天井高
		主なスパン	- m	
		基礎下端	- m	
		その他	客室数	- 室
			住戸数	- 戸
			ベッド数	- 床
			収容人数	- 人
		特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無	・有 ○無
		特例の区分	適用があるときは、特例の区分	
		許可・認定等	道路高さ制限不適用・隣地高さ制限不適用・北側高さ制限不適用	

# 2. 電気設備概要

電力	引込	方式	1 回線	200V KV
電源設備	変圧器	台	KVA	
	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	C V C F	台	V	KVA
幹線	照明	単相	3 線式	210/105 V
	動力	相	線式	V
負荷	設備容量	9,464 KW		
	基準部照明	300 Lux	光源種別	LED
監視制御	その他	調光あり		
	方式	集中・個別・遠方・手元		
電話	引込	10 回線		
	中継方式			
防災	内線容量	回線	回線	回線
	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	火災報知機	回線		
	非常照明	電池別置 ○電池内蔵	発電機直入	
	非常放送	W	専用・兼用	

# 3. 空調設備概要

熱源	エネルギー	重油・灯油・ガス ○電気・DHC(高温水・蒸気・冷水)・太陽熱
	装置	冷凍機(ターボ台・レシプロ式台・吸収式台・スクリュウ台) 直営冷水機台・ボイラー台・蓄熱槽 m <sup>2</sup> ・コレクター m <sup>2</sup> ○空冷式パッケージ型空調機(EHP)
空調方式	総容量	冷熱源 5.0 KW 温熱源 5.6 KW
	インテリア	中央式 個別式 空冷パッケージ方式(EHP)
制御	ペリメーター	中央式 個別式 空冷パッケージ方式(EHP)
	空調	電気式・空気式 ○電子式
換気	防煙ダンパー	電気式・空気式
	方式	中央式(1種・2種・3種) ○個別式(1種・2種・3種)
排煙	方式	○自然排煙方式・機械排煙方式
	制御	電気式・空気式

# 4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	上水・雑用水	引込口径 25 mm	直結給水・ポンプ圧送・重力給水
	受水槽	m <sup>2</sup> × 基		雑用水 m <sup>2</sup> × 基(ビット利用)
給湯	高置水槽	上水・雑用水 m <sup>2</sup> × 基		雑用水 m <sup>2</sup> × 基
	中央式	熱源(重油・灯油・ガス・電気・蒸気・ソーラー)、貯湯槽(m <sup>2</sup> × 基)		
排水	個別式	熱源(重油・灯油・ガス ○電気・蒸気・ソーラー)、貯湯式・瞬間式・循環式		
	屋内排水	合流(地上階・地下階)、分流(地上階・地下階)、再利用装置(有・無)		
ガス	屋外排水	下水道放流(汚水・雑用水・雨水)、浄化槽( )		
	都市ガス	引込口径(中圧 mm)(低圧 mm)、発熱量(MJ/m <sup>3</sup> )		
消火	プロパン	kg ポンプ本立組		
	屋内消火栓	屋外消火栓・連結送水管・連結散水・スプリンクラー消火・粉末消火・泡消火		
	ハロゲン化物消火	炭酸ガス消火・消防用水(m <sup>3</sup> )・消防水利(m <sup>3</sup> )		

# 付近見取図



計画地

NIHON SEKKEI 株式会社 日本設計	特記	埼玉浦和競馬組合	課長	副課長	主幹	主査	担当	設計	設備設計1級建築士証交付(番号)第4745号	浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事	図面番号 工事概要書	図面番号 E-3002
			飛塚	石井	桑名	井上	桑名	設計	建築設備士登録第 346629号 池田 晴			

各工事共通特記仕様書

Table with 2 columns: 1 工事概要 (Project Summary) and 2 表記 (Notes). Includes project name (浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事), location (埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号), and various technical specifications.

3 工事区分一覧表 (Work Division Table)

Large table listing various work items and their classifications under categories like 電気設備関係, 空調設備関係, 給排水衛生設備関係, and 昇降機設備関係. Includes detailed descriptions and classification codes.

4 構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の関与有無 (Involvement of Structural/Equipment Design Engineers)

Table detailing the involvement of structural and equipment design engineers. Includes sections for 構造設計一級建築士, 設備設計一級建築士, 耐震天井の応答倍率の指定, and 図書等 (Books/References).

1.7 節 完成図等 (Completion Drawings etc.)

Table detailing completion drawings and other documents. Includes sections for 1.7.1 (1.6.1) 完成時の提出図書, 1.7.2 (1.6.2~3) 完成図等, 1.7.3 (1.6.3) 安全に関する資料, and 1.8 節 1.8.1 挨拶 (Greetings).



特記仕様書

Table listing project staff: 竣工係 (浦和競馬場組合), 課長 (飛塚), 副課長 (石井), 主幹 (桑名), 主査 (井上), 担当 (桑名).

Table listing design and construction team: 設計 (設備設計1級建築士証交付(番号)第4745号), 設計 (建築設備士登録第 号), 設計 (建築設備士登録第 号), 法適合 (建築設備士登録第 号), 意見 (建築設備士登録第 号).

浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事

図面名称: 共通特記仕様書, 図面番号: E-3003, 縮尺: NO SCALE, 区分: 電気設備図





(表-1)

居室の床面積 A (㎡)	A ≦ 50	50 < A ≦ 200	200 < A ≦ 500	500 < A
	測定箇所	1	2	3

造作家具のスクリーニング ※ 行う

測定者 ※ 発注者の承認する第三者機関(環境計量証明事業登録を受けている機関)

●1.5.4 (建物)設計図書に定められた工法以外で、所定の品質および性質の確保が可能な工法の提案がある場合は、受注者の責任において計画・立案し、監理者と協議する。

### 1.6節 完成、検査

●1.6.1 (付加) 工事検査  
(1) 受注者は社内組織としての受検体制をとる。  
(2) 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、監理者とその手直し方法を検討して発注者に報告し、是正の後、完了を発注者及び監理者に報告し、発注者及び監理者の検査を受ける。

●1.6.2 (付加) 法定検査(1) ※ 有(※関係法令の定めによる検査等) (2) 法定検査に必要な機材、労務等を提供する。

●1.6.3 (付加) (1) ※ 有 ※発注者検査 ※監理者検査 (2) 法定検査に必要な機材、労務等を提供する。

●1.6.4 (付加) 技術検査(1) 監理者による技術検査は、1.6.1の工事検査に先立って行う。(ア)監理者又は設計者もしくは㈱日本設計関係者による中間技術検査の実施回数 ※2回 (2) 技術検査は、通知された検査日に検査を受ける。(3) 技術検査に必要な当該検査部分の完成図、資機材及び労務等を提供する。(4) 受注者は、社内組織としての受検体制をとる。(5) 受注者は、工事を完了して完成検査を受ける前に自主検査を行い、工事目的物が完成後十分に機能することを確認して、その結果を記録し、技術検査時に提出する。(ア)受注者は、契約内容の履行を保证するために、現場組織とは別個の自主検査組織を編成する。(イ)自主検査組織は、当該工事の施工担当組織と対等以上の権限を持つ複数の技術者より構成する。(ウ)着工後すみやかに、工事請負契約書および設計図書等の内容を十分理解したうえ、工事目的物の品質を確認するために必要な自主検査計画書を作成し、発注者及び監理者に提出する。(エ)自主検査計画に基づき検査を行い、工事目的物が工事契約書および設計図書に示した品質が確保されているかどうかを確認し、その内容と結果を記録して監理者に報告する。(オ)自主検査を行う時期は、工事請負代金の中間払いを受ける前、中間技術検査の受検前および完成検査の受検前、およびその他適時とする。

(6) 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、その処理方法、処理予定時期などを記載して発注者及び監理者に提出し、監理者の確認内容に従って改修し、引渡しの手続きを行う。

(7) 技術検査及び中間技術検査での指摘事項は、すべて記録して、指摘事項の改善方法、今後の対策などを盛り込んだ技術検査及び中間技術検査報告書を作成し、指摘状況および改善状況を写した写真を添えて発注者及び監理者に提出する。

●1.6.5 (付加) 部分使用(1) 部分使用 ○ 無 (2) 有(部位: ※ 図示) (3) 部分引渡し ○ 無 (4) 有(部位: ※ 図示)

●1.6.6 (付加) 引渡し(1) 受注者は、工事契約に基づいて、所定の期限内に完成時提出図書および備品予備品等を含めて、発注者に工事目的物を引き渡す。

●1.6.11 (付加) 竣工後のエネルギー調査等(6) ここに定める年次点検以外の点検を完成後に行った場合は、その報告書を発注者及び監理者に提出すること。

(1) 竣工引渡し後、設備システムが要求通りの性能・動作の確認ができてから1年間の運転実績について、下記の項目の実績を整理・考察の上、報告することを ※ 行う ・ 行わない

(2) 運転実績調査項目 ※ 年間1次エネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>発生量 ※ 年間電力消費量と内訳 ・ 年間ガス消費量と内訳 ・ 年間油消費量と内訳 ・ 年間給水量と内訳 ・ その他( ) (3) 運転実績調査項目 ※ 年間1次エネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>発生量 ※ 年間電力消費量と内訳 ・ 年間ガス消費量と内訳 ・ 年間油消費量と内訳 ・ 年間給水量と内訳 ・ その他( ) (4) 運転実績調査項目 ※ 年間1次エネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>発生量 ※ 年間電力消費量と内訳 ・ 年間ガス消費量と内訳 ・ 年間油消費量と内訳 ・ 年間給水量と内訳 ・ その他( )

### 1.7節 共通工事

●1.7.1 (付加) 仮設工事(1) 足場・さん橋類 ※別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で定置する。

(2) 監理者事務所 ※設ける ・ 設けない(ア) 監理者事務所の規模 種別(面積) ・ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) ・ 5号(100㎡程度) ・ 他(程度)

(イ) 監理者事務所の仕上げ 床: ビニル床シート張り又はタイルカーペット敷き程度以上 内壁、天井: せつこうボード張りの上、合成樹脂エマルションペイント塗り程度以上 注) 監理者事務所を敷地内外の借室を利用する場合も同規模・同仕上げ程度とする。

(3) 監理者事務所の設備・備品は監理者と協議するものとして下記を原則とする。また、監理者事務所のレイアウトを提出し、監理者の承認を受ける。(ア) 監理者事務所は施錠可能とし、3号以上は原則、専用区画とする。仕上げは上記程度とする。(イ) 電気、給排水、衛生、冷暖房の設備を設ける。(ウ) 什器、備品は下記による。机、椅子、書棚、見本棚、白板、図面かけ、ロッカー、掛け時計、消火器、ゴム長靴、雨がっぱ、安全ベルト、懐中電灯、電話(エ) 情報関連機器仕様等については最終資料1「監理者用情報環境整備」による。(オ) これらの諸設備を含む監理者事務所の維持管理および工事監理に必要な備品(監理関係図書を含む)の費用は工事費に含まれるものとする。(カ) 事務補助員について(※ 配員しない ・ 配員する)

(キ) 情報関連機器 (a) 機器仕様 (1) PC ■デスクトップタイプPC(標準タイプ) 数量 ( )台 (2) ソフトウェア ■標準ソフトウェア MS-Office Intel Core i7-4790(3.60GHz)相当以上 ウィルス対策ソフト 必ずインストールすること。 製品選択、パターンファイル更新は施工者に一任。 PDFビューア Adobe Reader その他 OSおよびアプリケーション等の各ソフトウェアはメーカーによるサポート対象のバージョンとし、セキュリティパッチ等を適切に更新すること

■追加ソフトウェア 標準ソフトウェアに加え、以下の種類、本数のソフトウェアを協議の上、PCにインストールする。

その他 監理者が必要なソフトウェアを追加でインストールする必要がある場合、PCの管理者の権限を監理者に与えるか、もしくは監理者からの要請の都度、対応するものとする。

(3) 出力機器 数量 ( )台 複合機(A3カラー) スキャナー、コピー、プリントの機能を有していること。 A3用、A4用の2以上のトレイを有していること。

(4) その他 デジタルカメラ ( )台 外付けモニター ( )台 液晶ディスプレイFHD以上、24インチ以上

(4) 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる(※有償・無償)

(5) 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる(※有償・無償)

(6) 事前調査すべき項目 ・ 敷地測量 ・ 地下埋設施設 ・ 地上架線図 ・ 電波障害測定 ・ 電波伝搬障害再調査 ・ 周辺騒音レベル ・ 土壌調査 ・ 過去の洪水の記録 ・ 過去の最大雨量 ・ その他特殊事情 ( )

(7) 工事用看板 ※設ける ・ 設けない

(1) 埋め戻し土・盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 含有物質量に適合したものとす。 ・ 搬入土の場合は土壌汚染対策法の特定有害物質について調査を行ない、同法に定める

(2) 建設発生土の処理 ・ 現場説明書による ※構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所にしたがひ ・ 構内指示の場所に敷きならし

(3) 事前調査 ・ 地盤 ・ 地下水 ※既存構築物 ※埋設物 ※近隣の状況

(4) 根切り ※のり面の崩壊防止 ※のり面の荷重、振動防止、のり面養生 ※ひび割れの観察、地表面の移動測定

(5) 排水(遮水) ※流入水の排水、遮水 ※排水による有害な影響防止 ・ 地盤改良

●1.7.2 (付加) 土工事第 7 編

●1.7.3 (付加) 土木工事第 8 編

●1.7.4 (付加) コンクリート工事第 9 編

●1.7.5 (付加) 左官工事第 10 編

●1.7.6 (付加) 鋼材工事

(1) 構造特記仕様書による (2) 下記項目以外は構造特記仕様書による。(ア) フリーアクセスフロア範囲の仕上りの平たんさ ※ 2mにつき6mm未満 (イ) 打継ぎ面の目地の寸法 ※ 図示 ・ 20×20

(1) 防火材料 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。

(2) モルタル塗り材料 ・ 吸水調整材 ・ 防水材(防水モルタル塗り混入剤)

(3) 下地 ・ 現場打コンクリート下地 ※漏水の原因となる箇所の防水処理

(1) 屋外部分に設置する鋼板、形鋼、棒鋼、平鋼、軽量形鋼は下記による。 ※形鋼鋼材 ・ 溶融亜鉛メッキ鋼材2種50 ・ 溶融亜鉛メッキ鋼材2種35

(2) 屋外部分に使用するボルト及びナットは下記による。 ※形鋼鋼材 ・ 溶融亜鉛メッキ鋼材2種50 ・ 溶融亜鉛メッキ鋼材2種35

(3) 屋内部分に設置する鋼板、形鋼、棒鋼、平鋼、軽量形鋼は下記による。 ※溶融亜鉛メッキ鋼材2種35 ・ 電気亜鉛メッキ

(4) 屋内部分に使用するボルト及びナットは下記による。 ※溶融亜鉛メッキ鋼材2種35 ・ 電気亜鉛メッキ

●1.7.7 (付加) その他注意事項

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(○)現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事が開始されるまで)の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断 自然災害の発生又は理文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的に中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.9 同時期発注の関連工事 ○ 建築工事 ○ 機械設備工事

1 機材等 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を講ずること。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

2 施工条件 施工時 行政機関の休日に関する法律(563第91号)に定める行政機関の休日以外、上記以外の時期に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ※ すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。 ※ 契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・ 本工事とする。

4 工事用仮設物 受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象となっている組立保換等にかけて、証書の写し等を監督員に提出する。受注者は法定外の労災保障に付し、証書の写し等を監督員に提出する。

5 足場・さんぽし類 取外し再利用機材は、清掃及び地盤抵抗測定等を行い、機能が良いことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。

7 保 険

8 再利用機材

9 建設リサイクル法の適用

10 完成図書の子供納品

11 発生材処理

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない

完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない

完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。

引渡を要するものは構外に搬出し、適切に処理する。(構外搬出処理費は、※本工事・別注)

(1) 引渡しを要するもの ( ) (2) 買取処分を要するもの (鋼材・鉄骨) (3) 再生資源化を図るもの(蛍光灯、蛍光灯管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。) (4) 特別管理産業廃棄物 ( ) ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

工事細目

■電灯設備工事	工 事 範 囲	特記仕様書項目NO
●(1)一般照明ツェン設備 ●(2)空調電源設備 ○( )非常ツェン設備 ○( )外灯設備	分電盤、配線器具、照明器具類の納入取付及びこれらに対する配線工事 接地幹線以降の接地工事 非常コンセントの納入取付及びこれらに対する電源配線工事 外灯の納入、取付及びこれらに対する配線工事 照明制御盤の納入据付 誘導灯用信号装置の納入取付及びこれらに対する配線工事 照明器具形式は図面特記による。 空調機・ランランプへの電源供給工事 ジャンクションボックスプレート仕上(・Pタイプ・カーペット) OA用テーブルタップの納入据付 外灯の接地は、器具毎に行うこと。 屋外灯のポール内に、配線用遮断器(引外し装置なし)又は、カットアウトスイッチ(兼通しヒューズ)を設けること。	3-1
	予 備 品 及 び 保 守 用 品	
	○ハイテンションスタッド 設計図による ○その他指定するもの ( ) 1式	

○動力設備工事	工 事 範 囲	
○動力制御盤、手元盤の納入据付及び電動機までの配管配線工事 ○制御盤までの必要機器の組込運動インターロック配線工事 ○他設備工事で設備する各種水槽の液面制御、警報装置から動力制御盤、遠方監視盤までの配線工事 ○警報盤の納入据付 ○接地幹線より分岐する各種接地線工事	予 備 品 及 び 保 守 用 品	
	○ヒューズ類 実装数 ○表示用ランプ類 実装数の20% (種別毎に1組以上) ○その他指定するもの ( ) 1式	

□電熱設備工事	工 事 範 囲	
○( )ファンヒーター設備 ○( )ボイラーヒーター設備 ○( )ファンヒーター設備	○制御盤の納入据付工事 ○ヒーティングケーブルの納入敷設工事 ○各種センサーの供給取付及びこれらに対する配管配線工事	
	予 備 品 及 び 保 守 用 品	
	○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	

■接地設備工事	工 事 範 囲	
	●雷保護用接地極を除く各種接地極の納入埋設工事 ●埋設接地極から抵抗測定試験端子盤までの配線工事 ○接地抵抗測定試験端子盤の納入取付工事 ●接地極埋設標の設置 ●接地抵抗の測定試験及び抵抗値の調整工事	
	予 備 品 及 び 保 守 用 品	
	○その他指定するもの ( ) 1式	

■幹線設備工事	工 事 範 囲	
	●図示の如く所定電路敷設に必要な機材の納入及び幹線工事 ●接地工事で施設する接地端子盤より各盤・配管等までの接地幹線工事 ●各種の端子への配線の接続及び回路識別用標識の取付工事 ●防火区画貫通処理工事 (認定工法)	
	予 備 品 及 び 保 守 用 品	
	○その他指定するもの ( ) 1式	

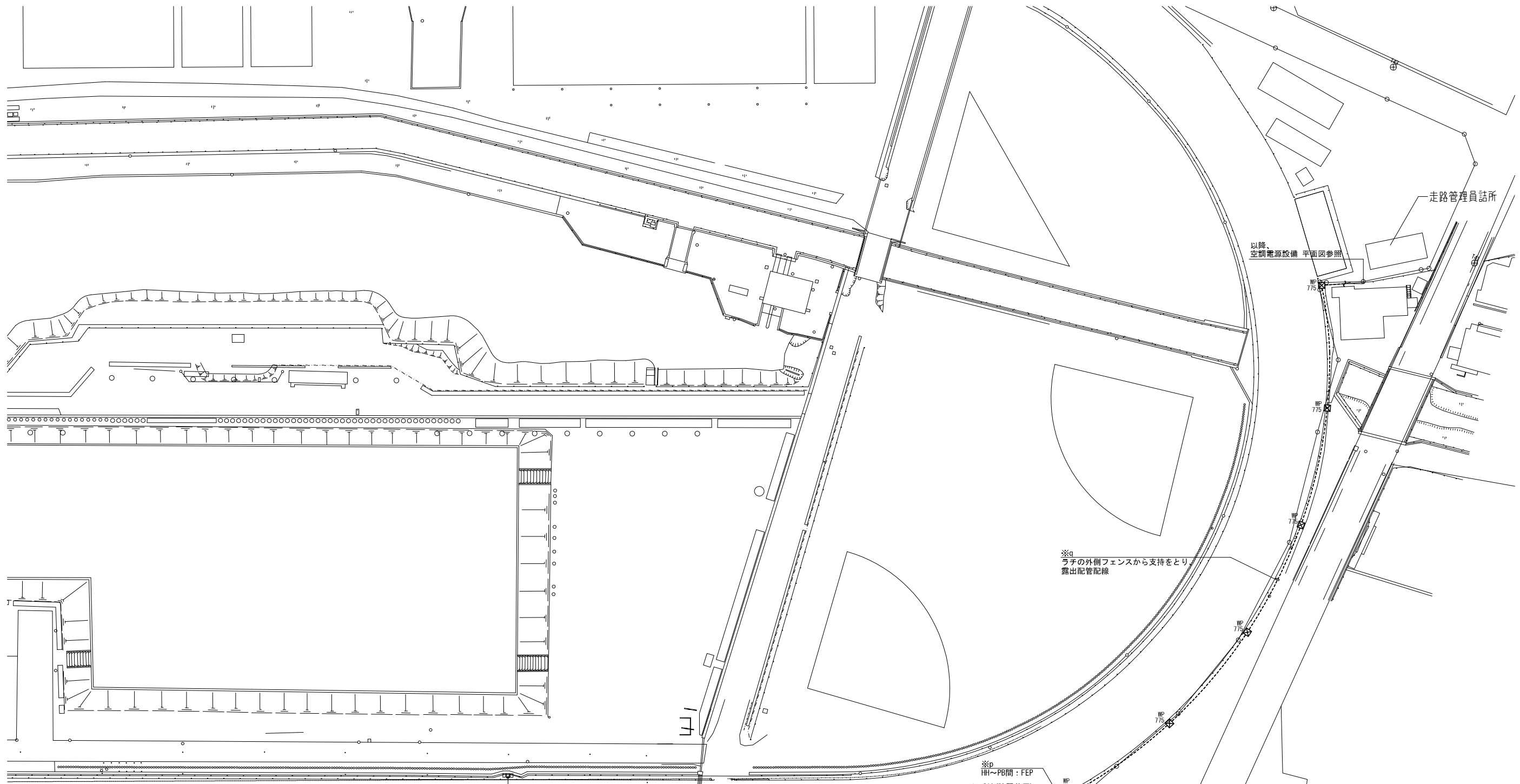
<input type="checkbox"/> 雷保護設備工事 <input type="checkbox"/> 外部雷保護システム <input type="checkbox"/> 内部雷保護システム  ○受雷部システムの施工 ○引き下げ導線システムの施工 ○接地システムの施工 ○等電位ボンディングの施工 ○大地抵抗率の測定 ○接地極埋設標の設置 ○接地抵抗の測定試験及び抵抗値の調整工事 ○埋設接地極から抵抗測定試験端子盤までの配線工事 ○接地抵抗測定試験端子盤の納入取付工事 ○接地極の省略に伴う大地抵抗率測定用補助接地極の埋設工事  予備品及び保守用品 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 電力貯蔵設備工事  ○( ) 直流電源設備 ○( ) 交流無停電電源設備 ○( ) 電力平準化用蓄電設備 ○( ) 分散電源エネルギーシステム  予備品及び保守用品 ○メーカー標準の予備品 (取納箱共) および保守用品 1式 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-6  <input type="checkbox"/> 3-10  <input type="checkbox"/> 3-11	<input type="checkbox"/> 情報表示設備工事  ○( ) マルチサイン設備 ○( ) 出退表示設備 ○( ) 時刻表示設備  ○情報表示機器の納入取付及びこれらに対する配管配線工事 ○親時計装置、子時計の納入、取付及びこれらに対する配線工事 ○電池時計納入取付工事 ○時報用アンテナ工事 ○時刻同期装置による時刻補正  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-14  <input type="checkbox"/> 3-15	<input type="checkbox"/> 駐車場管制設備工事  ○制御装置、発券機、カーゲート、カードリーダー、料金精算機、ルーブリックなどの検出装置、信号灯等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配線工事 ○料金計算装置の納入取付工事  予備品及び保守用品 ○記録用紙類 各種1年分 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○駐車券他 各種1年分 ○釣銭予備カセット 1式 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-20
<input type="checkbox"/> 航空障害灯等設備工事  ○( ) 航空障害灯設備 ○( ) ヘルポート照明設備  ○航空障害灯、制御盤の納入取付及びこれらに対する配線工事 ○ヘリポート機器、制御盤の納入取付及びこれらに対する配線工事 ○中央監視盤への信号線工事 ○航空障害灯の設置省略、設置免除に関する届出及び書類作成の補助  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 (種別毎に1組以上) ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 発電設備工事  ○( ) ディーゼル発電設備 ○( ) ガスエンジン発電設備 ○( ) ガスタービン発電設備 ○( ) マイクロタービン発電設備 ○( ) 燃料電池発電設備 ○( ) 熱供給発電設備 ○( ) 太陽光発電設備 ○( ) 風力発電設備 ○( ) 小出力発電設備  ○電動機、発電機及び付属機器装置類の納入取付工事 ○発電機盤、自動起動装置の納入取付工事 ○機器及び盤相互間の配線工事 ○起動用空気槽、空気圧縮機又は起動用蓄電池、充電器設備の納入取付及び同配管、配線工事 ○消音器の納入取付及び煙導工事 ○主燃料槽の納入取付、警報、連絡用通信装置の納入取付工事 ○電食対策の要否判定のため、迷走電流の測定 ○小出槽の納入取付、警報、連絡用通信装置の納入取付工事 ○減圧水槽の据付納入及び警報信号装置の納入取付工事 ○出入口に消防条に基づく指定名称板の設置工事 ○給油口ローリーアース及び発電機室との連絡用インターホン設備工事 ○エレベーター及び中央監視盤への信号供給配線工事 ○冷却塔の納入取付工事 ○太陽光モジュール及びアレイの納入取付工事 ○太陽光モジュール及びアレイ用架台の納入取付工事 ○パワーコンディショナー、系統連系保護装置、接続箱等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○風車発電装置、監視制御装置、計測・保護装置等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○油圧装置、圧縮装置、避雷設備及び照明装置の納入取付工事 ○排熱回収装置、排気ガス処理装置等の納入取付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○配管のスラッジ対策を施すこと ○送油管は小出槽前でバイパス回路を設け、常用及びバイパスはブリフィルタとバルブを設ける。 ○BCP対策時を想定した実負荷試験の実施  予備品及び保守用品 ○メーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○機関の分解組立工具 (取納箱共) 及び予備品・付属品 1式 ○電気式始動方式の場合：直流電源設備による予備品・付属品 1式 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-7  <input type="checkbox"/> 3-10  <input type="checkbox"/> 3-11	<input type="checkbox"/> 映像・音響設備工事  ○映像・音響機器の取付け用配管工事 ○映像・音響機器の納入取付及びこれらに対する配管配線工事  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-15  <input type="checkbox"/> 3-16	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備工事  ○受信盤他各種機器装置類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事 ○副受信盤の納入取付及び配線工事 ○放送設備起動用装置及びこれらに対する配管配線工事 ○各種申請図書類の作成業務 (申請手数料含む) ○排煙口の手動開放スイッチに対する配管配線工事  予備品及び保守用品 ○保守上必要とする工具及び試験器 1式 ○記録用紙類 各種1年分 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-21
<input type="checkbox"/> 電気自動車充電設備工事  ○( ) 急速充電設備 ○( ) 普通充電設備  ○電力変換装置、充電制御装置、充電コネクタの納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事 ○充電コネクタの付属コードの納入  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 構内情報通信網設備工事  ●将来対応管路等工事一式及び機器類設置スペースの確保 ●ケーブルラックの納入取付工事 ○機器類の納入取付・試験調整 ○ケーブル類の敷設工事 ●モジュラージャック、プレートの納入取付工事 ○時刻同期装置の取付、時刻の補正、調整  予備品及び保守用品 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-8  <input type="checkbox"/> 3-12	<input type="checkbox"/> 拡声設備工事  ○( ) 非常放送設備 ○( ) 一般放送設備  ○拡声装置 (増幅器、出力切り替え器、マイクロホン、電源装置、スピーカー、その他) 配線器具などの納入取付工事 ○弱電用端子盤の納入取付工事 (共用盤の場合は電話配管設備工事に含む) ○機器、盤、装置間の配管配線工事 ○エレベーター制御盤への出力供給配管配線工事 ○時刻同期装置による時刻補正  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ類 実装数の20% ○ヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-16  <input type="checkbox"/> 3-17	<input type="checkbox"/> 自動閉鎖設備工事  ○各種機器類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事  予備品及び保守用品 ○保守上必要とする工具及び試験器 1式 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-22
<input type="checkbox"/> 受変電設備工事  ○( ) 特別高圧受変電設備 ○( ) 高圧受変電設備  ○図示の受変電配電に関する機器装置類の納入取付及びこれらに対する電力配線、制御線配線工事 ○電力引込み用管路、支持柱木、ケーブルラック等の敷設工事 ○責任・財産分界点以降電気室内受配電盤一次側までの主回路に必要な各種機材の納入取付工事 ○受変電設備、監視制御盤、高低圧配電盤、計器盤および遮断器、開閉器などの機器、装置類に対する監視制御配線工事 ○保護金網取付工事 ○電気室等出入口に消防条に基づく指定名称板の設置工事 ○接地抵抗測定用試験端子盤以降の各種接地工事 ○責任・財産分界点までの電力ケーブル引込工事は別途 ○取引用 (受電用) PCT及び取引用計器類の取付工事は別途。但し、必要な配管類は本工事に含む。 ○エレベーター及び中央監視への信号供給配線工事 ○防火区画貫通処理工事 ○2次側が可とう導体の時は絶縁シートを取付ける  予備品及び保守用品 ○特高設備はメーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○高圧設備はメーカー標準の予備品・保守用品のほか、下記による高圧絶縁ゴム手袋・ベンチ、ドライバー等の工具・メジャー・テスター・検電器 1式 ○絶縁マット (盤前面および裏面) 1式 ○フック棒 (2.5m・1.5m) 各1本 ○表示用ランプ及びヒューズ類 (PPを含む) 実装数の20% (種別毎に1組以上) ○隙間計などの調整工具 (VCB、VCS等使用時) 各種1組 ○遮断器運搬具 (リフター) 種別毎に1組以上 ○フィルター (変圧器、強制空気冷却のとき、その他必要により) 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 構内交換設備工事  ●(1) 電話配管設備 ●(2) 電話設備  ●局線引込管路及びそれ以降の配管、ケーブルラック及び端末配管工事 ●ジャンクションボックスプレート仕上 (P・Pタイプ・カーペット) ●端子盤、端末取出アウトレットボックスの納入取付工事 ○MDFから各端子盤に至る配線工事 ●局線引込工事は別途 ●呼線工事 ●電話交換機装置、電源装置、電話機、各種アンテナ類の納入取付調整工事 ●MDFから各端子盤に至る配線工事及び電話機に至る配線工事 ○料金管理装置の納入取付調整工事 ●モジュラージャック、プレートの納入取付工事 ●接地幹線より分岐する接地線工事  予備品及び保守用品 ●メーカー標準の予備品 (取納箱共) 及び保守用品 1式 ●ローテーションスタンド 設計図による ●電話機台数 設計図による ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-9  <input type="checkbox"/> 3-13	<input type="checkbox"/> 誘導支援設備工事  ○( ) インターホン設備 ○( ) 音声誘導設備 ○( ) 身体障害者用インターホン設備 ○( ) トイレ等呼出し設備  ○検出部、制御部、案内表示部等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○視機・子機等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○呼出し表示灯、復旧鈴等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事  予備品及び保守用品 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-17  <input type="checkbox"/> 3-18	<input type="checkbox"/> 非常警報設備工事  ○非常ベル ○各種機器類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事  予備品及び保守用品 ○保守上必要とする工具及び試験器 1式 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-23
<input type="checkbox"/> 特別高圧受変電設備  ○( ) 特別高圧受変電設備 ○( ) 高圧受変電設備  ○図示の受変電配電に関する機器装置類の納入取付及びこれらに対する電力配線、制御線配線工事 ○電力引込み用管路、支持柱木、ケーブルラック等の敷設工事 ○責任・財産分界点以降電気室内受配電盤一次側までの主回路に必要な各種機材の納入取付工事 ○受変電設備、監視制御盤、高低圧配電盤、計器盤および遮断器、開閉器などの機器、装置類に対する監視制御配線工事 ○保護金網取付工事 ○電気室等出入口に消防条に基づく指定名称板の設置工事 ○接地抵抗測定用試験端子盤以降の各種接地工事 ○責任・財産分界点までの電力ケーブル引込工事は別途 ○取引用 (受電用) PCT及び取引用計器類の取付工事は別途。但し、必要な配管類は本工事に含む。 ○エレベーター及び中央監視への信号供給配線工事 ○防火区画貫通処理工事 ○2次側が可とう導体の時は絶縁シートを取付ける  予備品及び保守用品 ○特高設備はメーカー標準の予備品・保守用品 1式 ○高圧設備はメーカー標準の予備品・保守用品のほか、下記による高圧絶縁ゴム手袋・ベンチ、ドライバー等の工具・メジャー・テスター・検電器 1式 ○絶縁マット (盤前面および裏面) 1式 ○フック棒 (2.5m・1.5m) 各1本 ○表示用ランプ及びヒューズ類 (PPを含む) 実装数の20% (種別毎に1組以上) ○隙間計などの調整工具 (VCB、VCS等使用時) 各種1組 ○遮断器運搬具 (リフター) 種別毎に1組以上 ○フィルター (変圧器、強制空気冷却のとき、その他必要により) 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 構内交換設備工事  ●(1) 電話配管設備 ●(2) 電話設備  ●局線引込管路及びそれ以降の配管、ケーブルラック及び端末配管工事 ●ジャンクションボックスプレート仕上 (P・Pタイプ・カーペット) ●端子盤、端末取出アウトレットボックスの納入取付工事 ○MDFから各端子盤に至る配線工事 ●局線引込工事は別途 ●呼線工事 ●電話交換機装置、電源装置、電話機、各種アンテナ類の納入取付調整工事 ●MDFから各端子盤に至る配線工事及び電話機に至る配線工事 ○料金管理装置の納入取付調整工事 ●モジュラージャック、プレートの納入取付工事 ●接地幹線より分岐する接地線工事  予備品及び保守用品 ●メーカー標準の予備品 (取納箱共) 及び保守用品 1式 ●ローテーションスタンド 設計図による ●電話機台数 設計図による ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-10  <input type="checkbox"/> 3-14  <input type="checkbox"/> 3-15  <input type="checkbox"/> 3-16  <input type="checkbox"/> 3-17  <input type="checkbox"/> 3-18  <input type="checkbox"/> 3-19	<input type="checkbox"/> テレビ共同受信設備工事  ○テレビ及びラジオ受信用アンテナ、増幅器、分配器、整合器、ヘッドエンド装置などの供給取付 ○アウトレットまでの配管配線工事 ○アンテナ及び装置、機器配線の調整工事 ○予備配管工事 ○受信調査 (事前 上棟 竣工) (測定チャンネル数 ch) 上記でch数の記載が無い場合、測定チャンネルは計画地で受信可能なチャンネルを測定する  予備品及び保守用品 ○ヒューズ類 実装数 ○端末抵抗器 実装数の20% ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-18  <input type="checkbox"/> 3-19	<input type="checkbox"/> 漏れ火災警報設備工事  ○受信盤他各種機器装置類の納入取付及びこれらに必要とする配管配線工事  予備品及び保守用品 ○保守上必要とする工具及び試験器 1式 ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-24
<input type="checkbox"/> 防犯・入退室管理設備  ○( ) 機械警備設備 ○( ) 入退室管理設備  ○機械警備に係る配管工事 ○センサ、制御装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○制御装置、認識装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○警察機関に通報する設備の設置工事 ○警備保険会社などが納入取付けるものは別途 ○ICカードを用いる場合の初期入館者データ登録は本工事 ○時刻同期装置による時刻補正  予備品及び保守用品 ○記録用紙類 各種1年分 ○カード 設計図による ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 防犯・入退室管理設備  ○機械警備に係る配管工事 ○センサ、制御装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○制御装置、認識装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○警察機関に通報する設備の設置工事 ○警備保険会社などが納入取付けるものは別途 ○ICカードを用いる場合の初期入館者データ登録は本工事 ○時刻同期装置による時刻補正  予備品及び保守用品 ○記録用紙類 各種1年分 ○カード 設計図による ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-10  <input type="checkbox"/> 3-14  <input type="checkbox"/> 3-15  <input type="checkbox"/> 3-16  <input type="checkbox"/> 3-17  <input type="checkbox"/> 3-18  <input type="checkbox"/> 3-19	<input type="checkbox"/> 監視カメラ設備工事  ○監視カメラ、モニター架等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○時刻同期装置による時刻補正 ○屋外設置用の架台・ポール及び基礎工事  予備品及び保守用品 ○製造者の標準 1式 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-18  <input type="checkbox"/> 3-19	<input type="checkbox"/> 防犯・入退室管理設備  ○機械警備に係る配管工事 ○センサ、制御装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○制御装置、認識装置等の納入取付、試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ○警察機関に通報する設備の設置工事 ○警備保険会社などが納入取付けるものは別途 ○ICカードを用いる場合の初期入館者データ登録は本工事 ○時刻同期装置による時刻補正  予備品及び保守用品 ○記録用紙類 各種1年分 ○カード 設計図による ○表示用ランプ及びヒューズ類 実装数 ○その他指定するもの ( ) 1式	<input type="checkbox"/> 3-25







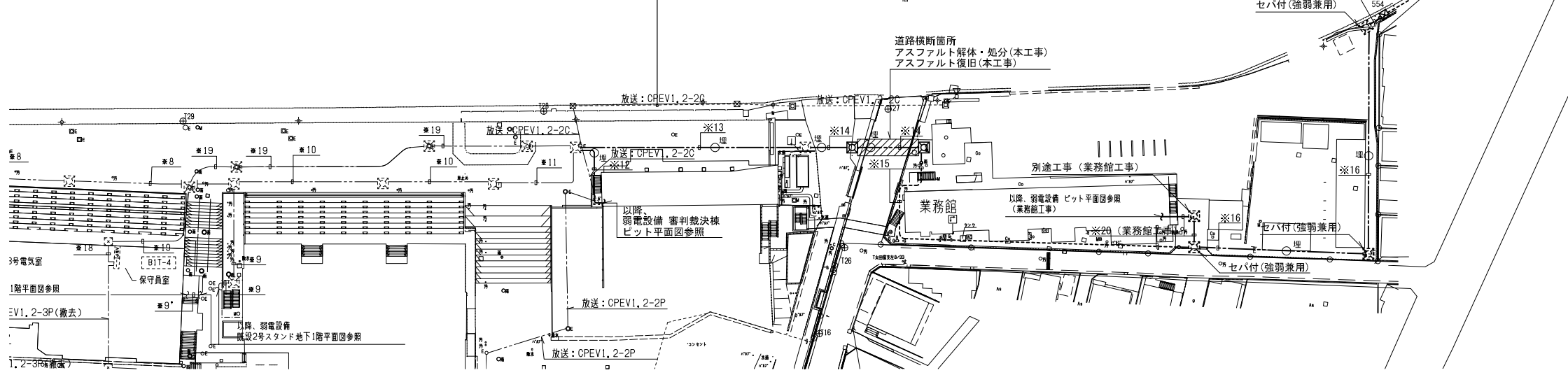
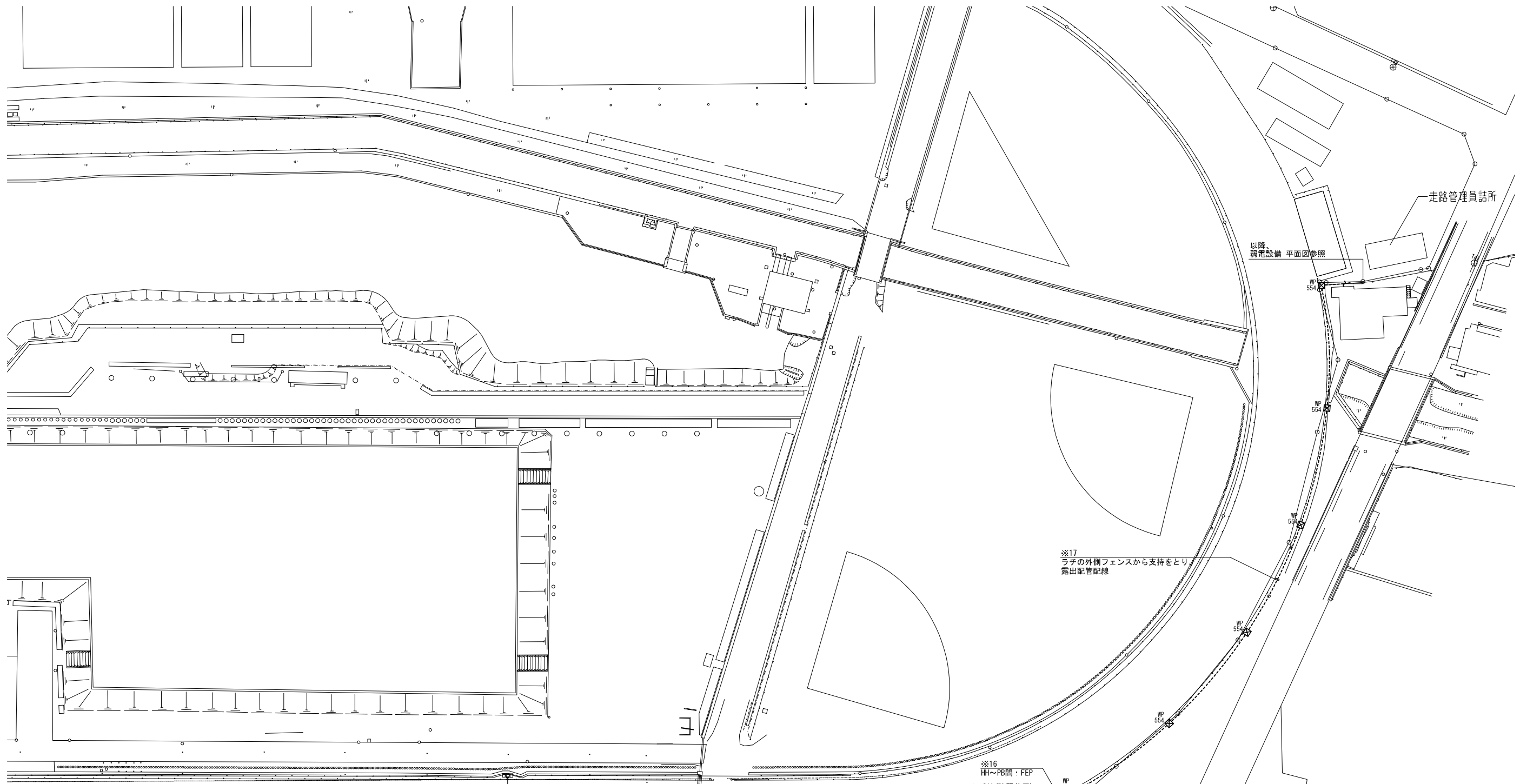




凡 例	記号	名 称	備 考
<input checked="" type="checkbox"/>	フルボックス		仕様は注記参照
<input checked="" type="checkbox"/>	ハンドホール H2-9		R20K-60
---	地中埋設配管・配線		
---	地上露出配管・配線		
○埋	埋設標		

- 注 記
1. 図中の細線は既設を示し、太線は新設を示す。
  2. 図中の配管・配線サイズおよび種別は、構内配電線一覧表参照とする。
  3. 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックスは溶融垂鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
  4. ハンドホールでのケーブルジョイントは原則行わないこと。
  5. ハンドホール内の配線はP管で保護を行なうこと。
  6. フルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)
    - 221 (傍配無しは 221 とする。)
    - 高さ寸法：100
    - よこ寸法：200
    - たて寸法：200
- (傍配 WP は屋外型、溶融垂鉛メッキ仕上げとする)

 株式会社 日本設計	特記	埼玉県 浦和競馬組合	課長 副参事 主任 主査 担当	設計 設備設計1級建築士証交付(番号)第4745号 1級建築士登録第346629号 池田 謙	図面名称 浦和競馬場走路管理員詰所電気設備工事	図面番号 E-3011
			飛塚 石井 桑名 井上 桑名	設計 建築設備士登録第 号 設計 建築設備士登録第 号 監査 建築設備士登録第 号 意見 建築設備士登録第 号		



凡例	配号	名称	備考
<input checked="" type="checkbox"/>		フルボックス	
<input checked="" type="checkbox"/>		ハンドホール H2-9	R20K-60
<input checked="" type="checkbox"/>		地中埋設配管・配線	
<input checked="" type="checkbox"/>		地上露出配管・配線	
<input checked="" type="checkbox"/>		埋設標	

- 注記
1. 図中の細線は既設を示し、太線は新設を示す。
  2. 図中の配管・配線サイズおよび種別は、構内配電線一覧表参照とする。
  3. 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融垂鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
  4. ハンドホールでのケーブルジョイントは原則行わないこと。
  5. ハンドホール内の配線はP管で保護を行なうこと。
  6. フルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)
- 221 (傍記無しは 221 とする。)
   
 高さ寸法: 100
   
 よこ寸法: 200
   
 たて寸法: 200
   
 (傍記 WP は屋外型、溶融垂鉛メッキ仕上げとする)



※n 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(FEP100)	仮設

※o 露出配管・配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(FEP100)	仮設

※p 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(FEP100)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(既設FEP100)	本設

※q 露出配管・配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(G104)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(既設G104)	本設

※r 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250* E8* x3	(既設FEP100)	本設

※12 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※13 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※14 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※15 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※16 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(既設FEP30)	本設
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(既設FEP30)	本設


※17 露出配管・配線

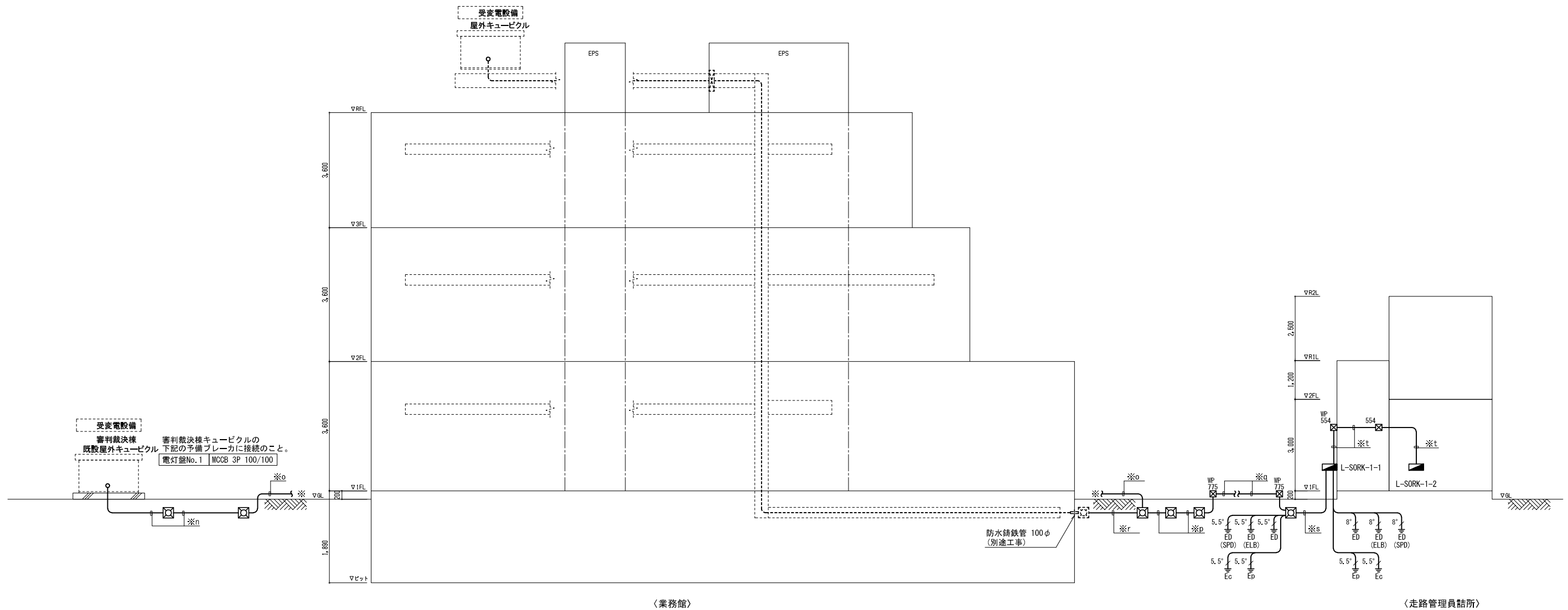
自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(既設G36)	本設
審判採決棟 (MDF)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(既設G36)	本設

※20 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	本設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	本設

特記事項

※1.  は、業務館工事範囲を示す。



〈業務館〉

〈走路管理員詰所〉

※n 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設

※o 露出配管・配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設

※p 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	本設

※q 露出配管・配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	本設

※r 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	本設 (配管は別途工事)

※s 地中埋設配管・配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁決棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	本設
屋外照明設備	L-SORK-1-2	空配管	(FEP50)	本設

※t 露出配管・配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
L-SORK-1-2	L-SORK-1-1	EM-CET38° E5.5° x3	屋内 (E63) 屋外 (G54)	

凡例

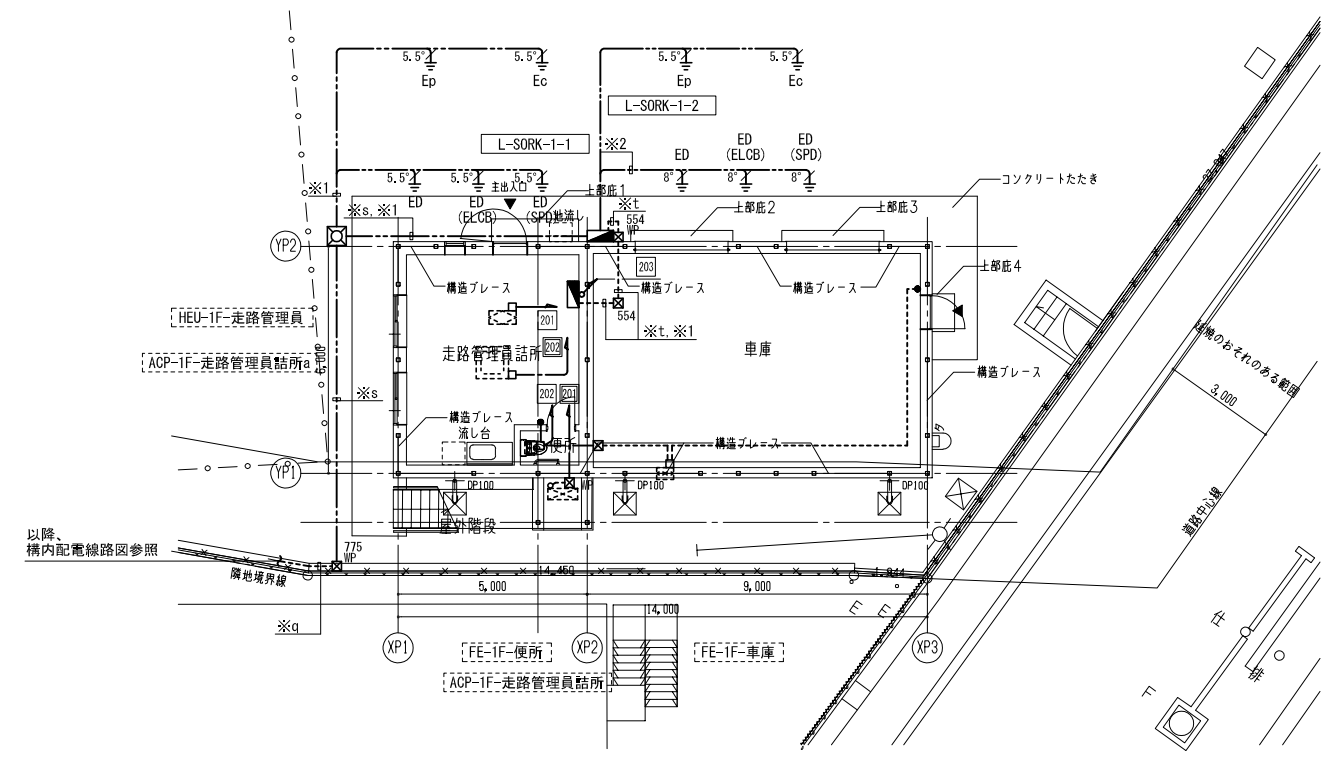
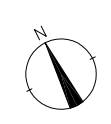
記号	名称	備考
☐	電灯分電盤	
☒	プルボックス	仕様は注記参照、破線は業務館工事
☒	ハンドホール H2-9	R2K-60
☒	ハンドホール	業務館工事
⊥	接地極	仕様は図中参照
////	防火区画貫通処理	
----	ケーブルラック	業務館工事
----	ケーブルラック上配線	
----	配管・配線	
----	配管・配線	業務館工事

注記

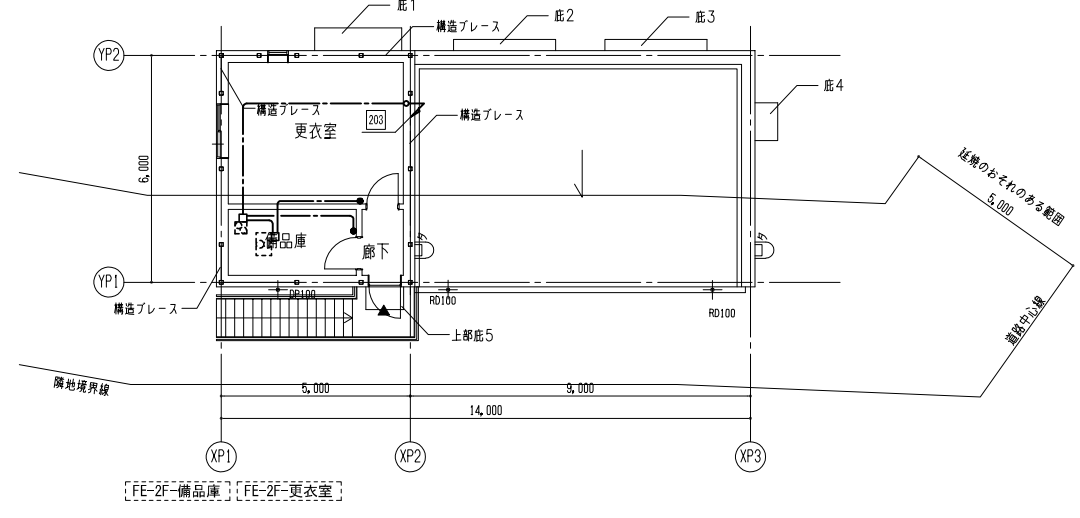
- 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ (Z35) とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
  - プルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)
    - ☒221 (傍記無しは 221 とする。)
    - 高さ寸法: 100
    - よこ寸法: 200
    - たて寸法: 200
- (傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)

特記事項

※1. は、業務館工事範囲を示す。



1階平面図



2階平面図

※a 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁判棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(G104)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(既設G104)	本設

※s 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判裁判棟受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(FEP100)	仮設
業務館受変電設備	L-SORK-1-2	EM-CET250° E8° x3	(既設FEP100)	本設
屋外照明設備	L-SORK-1-2	空配管	(FEP50)	本設

※t 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
L-SORK-1-2	L-SORK-1-1	EM-CET38° E5.5° x3	屋内(E63) 屋外(G54)	

※1 接地極~L-SORK-1-1

ED	EM-1E5.5°	(GLT28)
ED (ELB)	EM-1E5.5°	
ED (SPD)	EM-1E5.5°	
Ep	EM-1E5.5°	
Ec	EM-1E5.5°	

※2 接地極~L-SORK-1-2

ED	EM-1E8°	(GLT28)
ED (ELB)	EM-1E8°	
ED (SPD)	EM-1E8°	
Ep	EM-1E5.5°	
Ec	EM-1E5.5°	

凡例

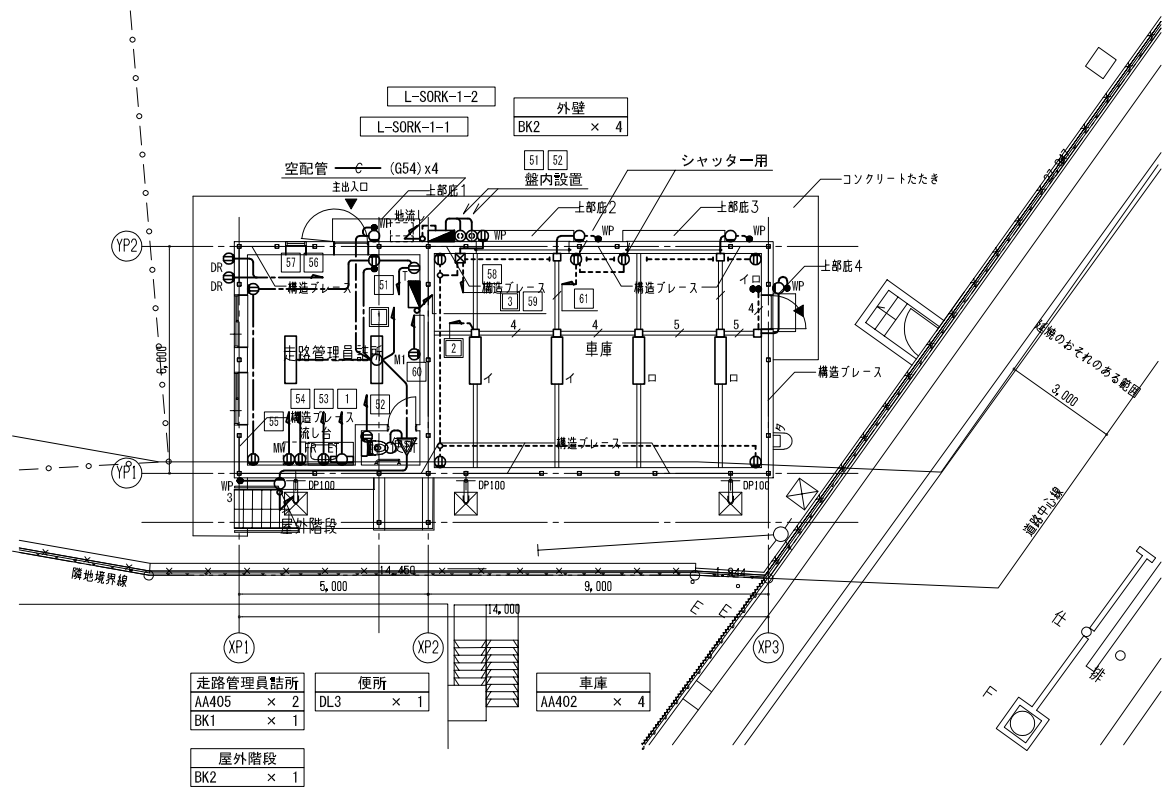
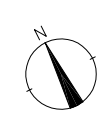
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	破線は業務館工事
□	空調室内機	空調設備工事
□	空調室外機	空調設備工事
□	全熱交換器	空調設備工事
□	天井扇	空調設備工事
●	壁付スイッチ 1P15A×1	パイロットランプ付
□	ジョイントボックス	
□	プルボックス	仕様は注記参照
□	ハンドホール H2-9 セバ付	R2K-60
⊕	接地極	仕様は図中参照
↑ ↓	立上げ、立下げ	
---	ケーブルラック	別途工事(業務館工事)
---	ケーブルラック上配線	
---	天井内ケーブル配線	
---	露出配管・配線	
---	地中埋設配管・配線	GL-600以上

注記

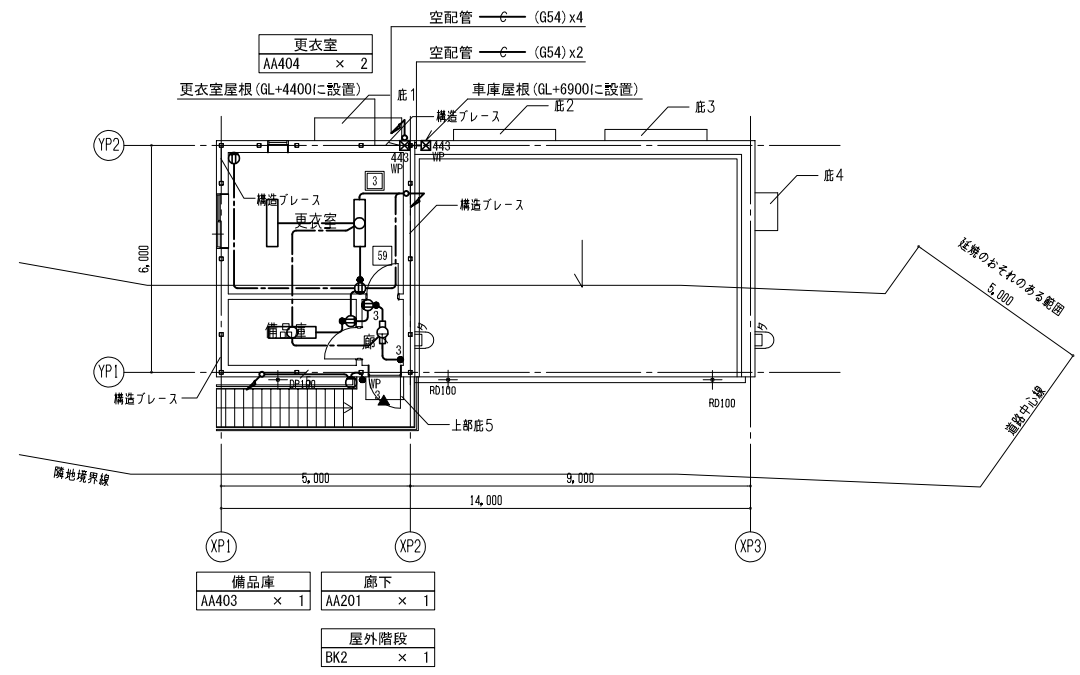
- 特記なき配管・配線は下記とする。  
 --- EM-EF2.0-3C 保護部 (PF22)  
 ----- EM-1E2.0° x3 (E25)・屋外 (22)
- ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
- 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
- プルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)  
 □221 (傍記無しは 221 とする。)  
 高さ寸法: 100  
 よこ寸法: 200  
 たて寸法: 200  
 (傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)

特記事項

※1. は、業務館工事範囲を示す。



1階平面図



2階平面図

凡例

記号	名称	備考
電灯・コンセント設備		
■	電灯分電盤	
□	LED器具 (2灯式相当) 天井付	
□	LED器具 (1灯式相当) 天井付	
□	LED棚下灯	
○	LEDダウンライト	
○	LEDブラケット	
Ⓜ	壁付コンセント 2P15A×2 E極付	
ⓂET	壁付コンセント 2P15A×2 E極、E端子付	
ⓂMW	壁付コンセント 2P15A×2 E極、E端子付	電子レンジ用
ⓂFR	壁付コンセント 2P15A×2 E極、E端子付	冷蔵庫用
ⓂDR	防水コンセント 2P15A×1 E極、E端子付	抜止型 洗濯機・乾燥機用
ⓂMI	壁付コンセント 2P15A×2 E極付	競馬中継モニター用
ⓂWP	防水コンセント 2P15A×2 E極、E端子付	抜止型 カバー付
ⓂEH	壁付コンセント 2P15A×1 E極付	電気温水器用 1φ200V
ⓂT	露出コンセント 2P15A×2 E極付	端子盤内設置
Ⓜ	露出コンセント 2P15A×2 E極付 抜止め	分電盤内設置
●	壁付スイッチ 1P15A×1	
●3	壁付スイッチ 3W15A×1	3路スイッチ
●WP	壁付スイッチ 1P15A×1 防水型	
▽	熱線センサ付自動スイッチ (親器)	
⊙	ジョイントボックス	
□	レースウェイ (40x30)	
---	天井内ケーブル配線	

注記

- 特記なき配管・配線は下記とする。
  - EM-EF2.0-3C 保護部 (PF22)
  - EM-EF2.0-2C×2 保護部 (PF22)
  - EM-EF2.0-3C×2 保護部 (PF22)
  - EM-IE2.0×3 レースウェイ
  - EM-IE2.0×n レースウェイ
- ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
- 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ (Z35) とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。

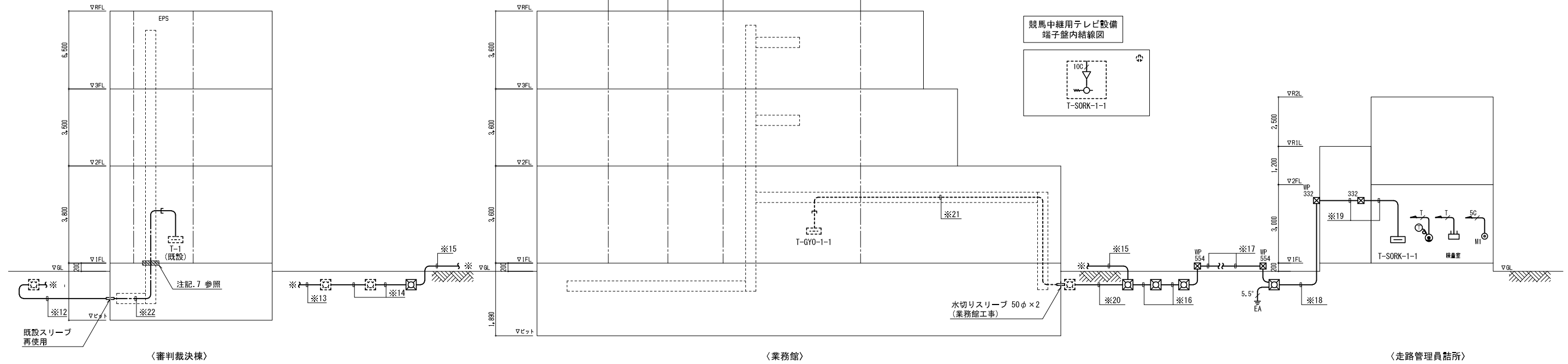
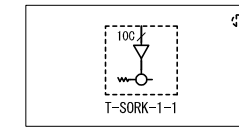




端子盤対数表

盤名称	盤形状	構内交換設備	競馬中継用テレビ設備	予備	備考
T-SORK-1-1	鋼板製屋内壁掛型、指定色塗装、上部ダクト付	10P	下図参照	10P	〔露出コンセント 2P15A×2 E極付、抜止め〕×2

競馬中継用テレビ設備  
端子盤内結線図



※12 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※13 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※14 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※15 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※16 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
		EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設

※17 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	〔仮設G36〕	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	〔仮設G36〕	本設

※18 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	〔仮設FEP30〕	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	〔仮設FEP30〕	本設

※19 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(E31)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	〔仮設E31〕	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(E31)	仮設
業務館 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	〔仮設E31〕	本設

※20 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	本設 配線のみ本工事
	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(FEP30)	本設 配線のみ本工事

※21 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	〔仮設〕	本設
	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	〔仮設〕	本設

※22 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	-	仮設
	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	-	仮設

凡例

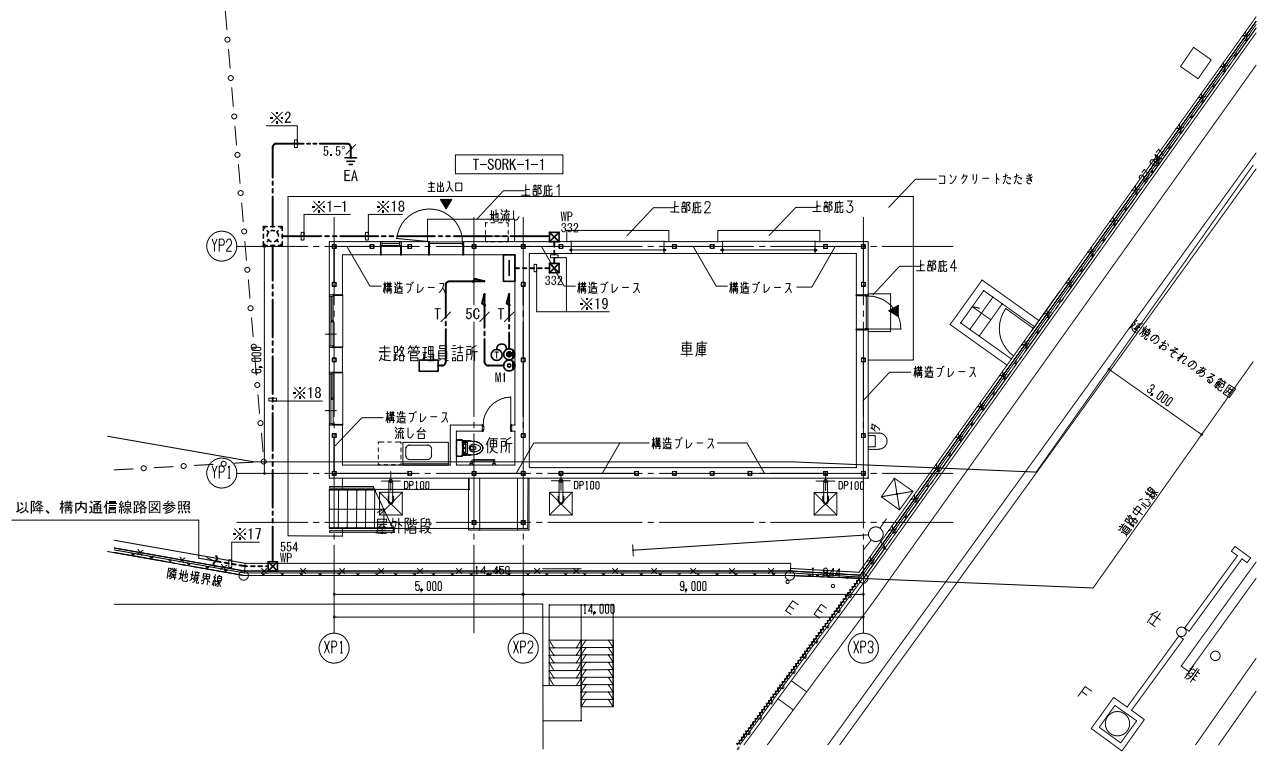
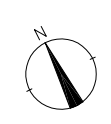
記号	名称	備考
構内交換設備		
□	弱電用端子盤	破線は別途工事
⊙	壁付電話用アウトレット	モジュラージャック6極4芯付
○	内線電話機	富士通 1ssphone 20d2相当品
⊕	PHSアンテナ	
競馬中継用テレビ設備		
Ⓜ	競馬中継テレビモニター用	SH-77F
▶	増幅器	CATV-SH-1
○	2分配器	SH-D2
≡	ダミー抵抗	
⊕	露出コンセント 2P15A×2 E極付	増幅器用(弱電用端子盤内)
共通		
Ⓜ	ハンドホール セパレーター付	別途工事
Ⓜ	防火区画貫通処理(ケーブル床貫通用)	国土交通大臣認定工法 認定番号:PS060FL-0032
Ⓜ	ケーブルラック	別途工事
Ⓜ	ケーブルラック上配線	
Ⓜ	配管・配線	
Ⓜ	配管・配線	業務館工事

注記

- 図中の細線は既設を示し、太線は新設を示す。
  - 特記なき配管・配線は下記による。
- <構内交換設備>
- EM-EBT0.65-2P 保護部(PF22)
- <競馬中継用テレビ設備>
- 5C EM-S-5C-FB 保護部(PF22)
  - S-10C-HFL 保護部(PF22)
- ケーブル配線に於いて、壁立上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為に保護管使用の事。
  - 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUSとする。
  - プルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)
    - 221 (傍記無しは 221 とする。)
    - 高さ寸法: 100
    - よこ寸法: 200
    - たて寸法: 200
- (傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)
- ハンドホール内の配線はPF管で保護を行なうこと。
  - 本工事の配線敷設に伴う各所の防火区画貫通処理の撤去・再取付を含む。

特記事項

※1. 〔斜線〕は、業務館工事範囲を示す。



1階平面図

※17 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(既設G36)	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(G36)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(既設G36)	本設

※1-1,2 接地極~T-SORK-1-1

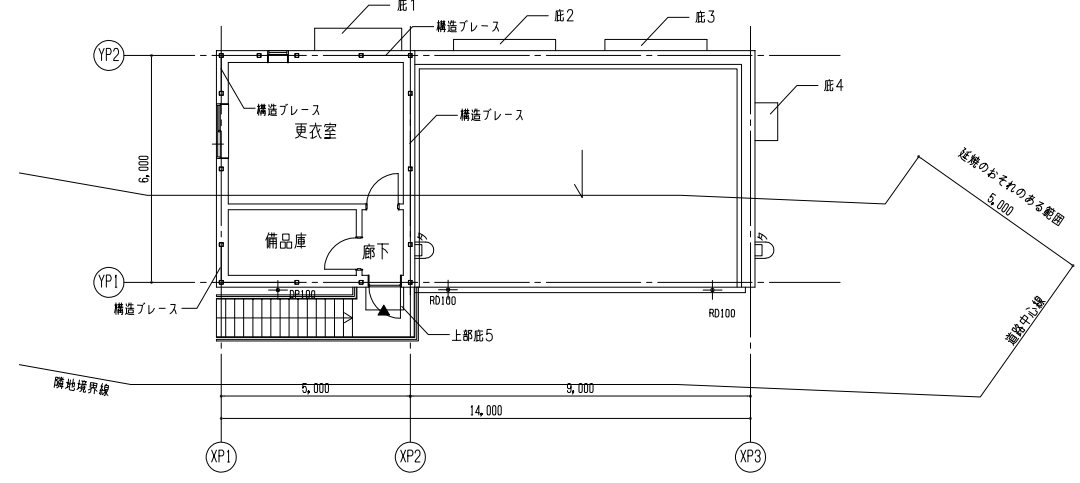
EA	EM-IE5.5"	(GLT28)
----	-----------	---------

※18 地中埋設配管配線 GL-600

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(既設FEP30)	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(FEP30)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(既設FEP30)	本設

※19 露出配管配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(E31)	仮設
業務館 (T-GYO-1-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	(既設E31)	本設
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(E31)	仮設
業務館 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-10C-HFL	(既設E31)	本設



2階平面図

凡例

記号	名称	備考
構内交換設備		
☐	弱電用端子盤	破線は業務館工事
⊙	壁付電話用アウトレット	モジュージャック6極4芯付
⊕	内線電話機	富士通 issphone 20d2相当品
⊖	PHSアンテナ	
競馬中継用テレビ設備		
Ⓜ	競馬中継テレビモニター用	SH-77F
△	増幅器	CATV-SH-1
○	2分配器	SH-D2
∞	ダミー抵抗	
⊕	露出コンセント 2P15A×2 E極付	増幅器用(弱電用端子盤内)
共通		
☒	ハンドホール セパレーター付	空調電源設備工事
☒	ブルボックス	仕様は注記参照
---	ケーブルラック	別途工事(業務館工事)
---	ケーブルラック上配線	
---	天井内ケーブル配線	
---	天井いんべい配管・配線	
---	地中埋設配管・配線	GL-600以上

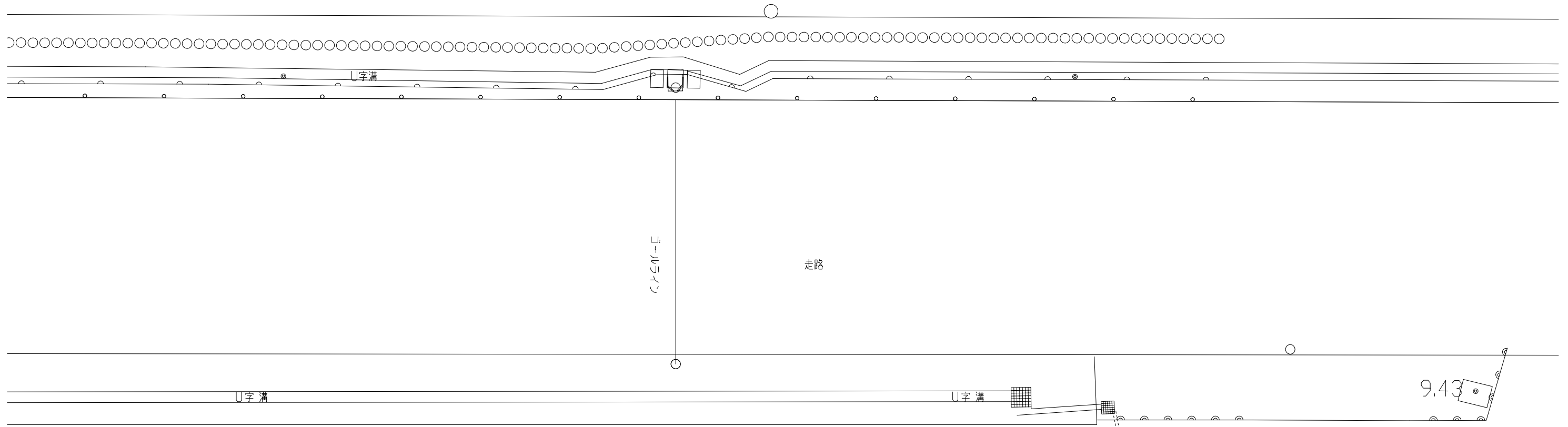
注記

- 図中の細線は既設を示し、太線は新設を示す。
- 特記なき配管・配線は下記による。  
 <構内交換設備>  
 EM-EBT0.65-2P 保護部(PF22)  
 <競馬中継用テレビ設備>  
 EM-S-5C-FB 保護部(PF22)  
 S-10C-HFL 保護部(PF22)
- ケーブル配線に於いて、壁上げ・引下げ箇所ではケーブル保護の為保護管使用の事。
- 屋外露出部の配管は厚鋼電線管とし、ボックス共溶融亜鉛メッキ仕上げ(Z35)とする。但し、ボルト・ナット・支持材等はSUS製とする。
- ブルボックスの仕様は下記による。(鋼板製屋内型、E端子付)  
 ☒221 (傍記無しは 221 とする。)  
 高さ寸法: 100  
 よこ寸法: 200  
 たて寸法: 200  
 (傍記 WP は屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)
- ハンドホール内の配線はPF管で保護を行なうこと。

特記事項

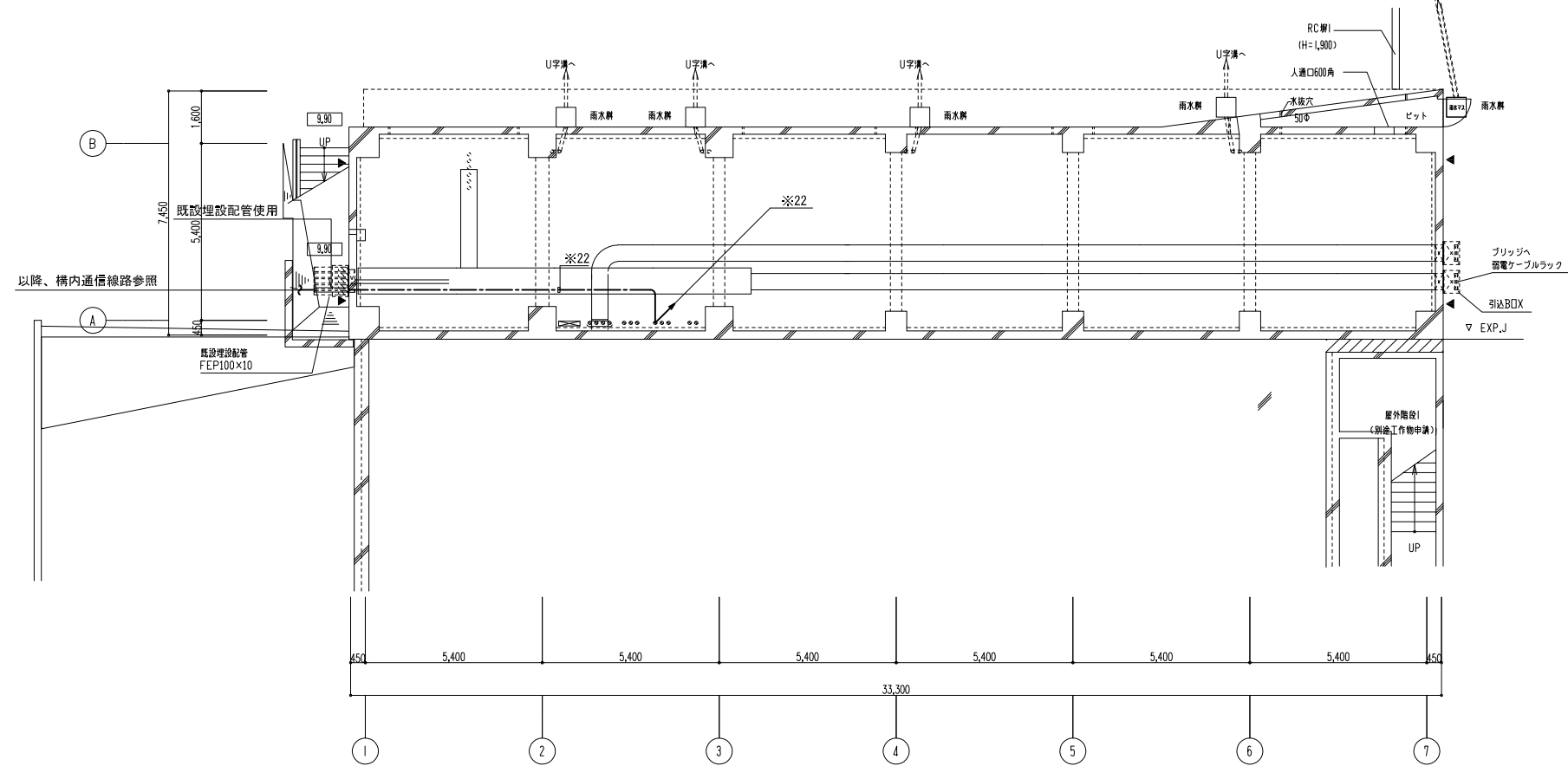
※1. は、業務館工事範囲を示す。



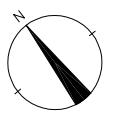


※22 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	-	仮設
		EM-10C-HFL	-	仮設

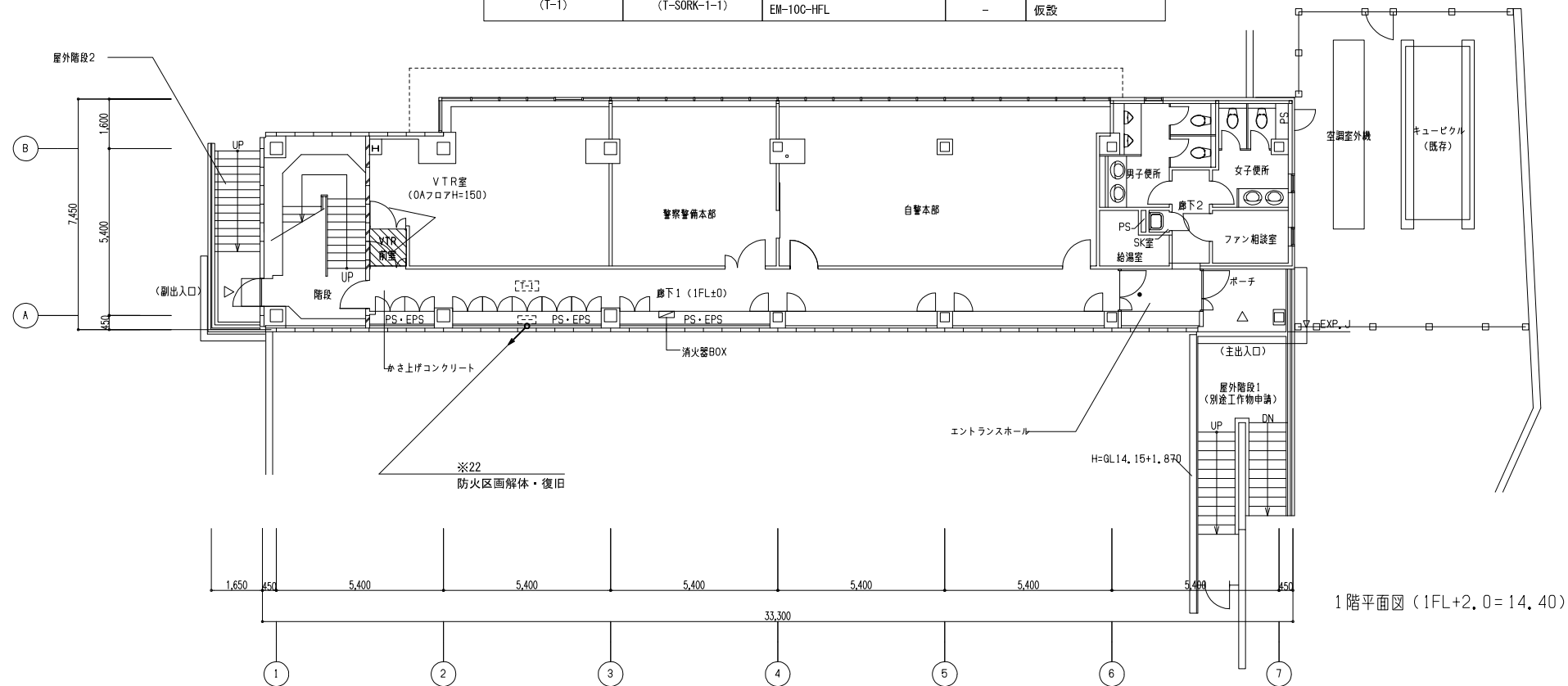


ピット平面図



※22 ケーブルラック上配線

自	至	配線サイズ	配管	備考
審判採決棟 (T-1)	走路管理員詰所 (T-SORK-1-1)	EM-EBT0.5-10P	-	仮設
		EM-10C-HFL	-	仮設



1階平面図 (1FL+2.0=14.40)

